

海外インフラデットファンド第 3 号 新規投資家コミットメントについて

当社が 2021 年 1 月に投資顧問会社として運用を開始した海外のインフラストラクチャーを投資対象とするデットファンド「Cosmic Blue PF Magnolia FCP-RAIF」(以下「本ファンド」)¹は、同年 4 月に住友生命保険相互会社(代表執行役社長 高田 幸徳)より 100 億円のコミットメントを受けました。これにより本ファンドのコミットメント総額は 300 億円となりました。

本ファンドは、本邦投資家の運用資産と海外のインフラ市場を結びつけることで投資家に魅力的な投資機会を提供するとともに、投資先の国や地域社会の持続的な発展に必要な不可欠なインフラ事業へ投資を行うものです。当社が過去組成・運用したファンドで培ったノウハウも最大限に活用し、海外プロジェクトファイナンス債権を投資対象としてグローバルに分散されたポートフォリオ運用により、金融機関や年金基金等の機関投資家の皆さま向けに長期安定的なリターンを提供します。

本ファンドの運用においては ESG の視点を投資及びモニタリングプロセスに組み込んでいる他、インフラ投資を通じて持続可能な世界の実現に繋げるべく、電気、水などのすべての人々の生活に欠かせない社会基盤を構築するエッセンシャルなプロジェクトに対して選別的な投資を行い、SDGs 達成への貢献を目指しております。具体的には、投資判断を行う際に大規模プロジェクトが自然環境・地域社会に与える影響を評価し、エクエーター原則を充足するための対策が取られたプロジェクトのみに投資を行う他、SDGs に基づきインフラ事業が生み出す定量・定性的なインパクトの計測・評価を投資及びモニタリングプロセスに組み込んでいます²。こうした取り組みを背景に、EU のサステナブルファイナンス開示規制において、本ファンドについては環境・社会的特性を促進する第 8 条ファンド(ESG Products)として分類されています³。

当社は、引き続きインフラデットファンドの運用において投資哲学として「エッセンシャルリティー(Essentiality)」をキーワードに国や地域社会に必要な不可欠なインフラ事業への投資を行うことに専念し、グローバルに分散された良質なポートフォリオを構築して参ります。また PRI 署名機関として⁴引き続き ESG の促進に貢献し、機関投資家の皆さまの運用ニーズに応えるべくさらなる運用プロダクト開発に注力していく所存です。

今後も本邦投資家のみならず海外投資家も含めて広く投資家を募り、本ファンド単独でインフラデットファンドとして世界トップクラスの規模である 1,000 億円程度の運用残高を目指します。

¹ http://www.am-one.co.jp/pdf/amoai/release/16/20210115_AMOAI.pdf をご参照下さい。

² 詳細については <http://www.am-one.co.jp/img/company/36/stewardshipreports2020-2021.pdf> もご参照ください。

³ <https://www.carnegroup.com/cosmic-blue-funds>

⁴ アセットマネジメント One が代表して PRI に署名しており、当社はグループ会社として PRI を遵守しています。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社

企画管理部 03-5221-1340